

令和6年9月20日

今治市長 徳永 繁樹 様

今治市海事都市交流委員会

会長 檜垣 幸人



海事都市・今治の未来創生に関する要望書

平素より海事産業に携わる我々の事業活動につきまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今治市は、国内での建造船舶の約20%を市内造船所で建造し、また、「今治オーナー」と言われる市内外航船船主は国内外航船の約3割に当たる1,000隻を保有しているなど、世界にも類をみない海運業、造船業、船用工業などの海事関連企業の一大集積地であります。

さらには、2009年に始まった国際海事展バリシップは、国際的にも認知された展示会となり、世界中から海事関係者がここ今治に集い、今治から新たな技術・情報が発信されております。

しかしながら、海事産業を取り巻く現状は刻々と変化し、現状の港湾施設や展示会場の機能では、その変化に対応できなくなりつつあります。今後も今治市が世界に誇る海事都市として発展していくためには、海事都市にふさわしい施設整備等が必要であると考え、以下の要望事項を実施していただきますようお願いいたします。

なお、これらの事業実施にあたりましては多額の費用が必要となりますことから、我々今治市海事都市交流委員会メンバーが中心となって本市に係る海事産業事業者呼び掛け、可能な限りの協力をさせていただきたいと考えております。

我々の「海事都市・今治の未来」への熱い思いをしっかりと受け止めていただき、今治市として前向きに、そして早急に対応いただきますことを切にお願いいたします。

【要望事項】

1 今治港の整備

- (1) 今治港を「交流の港」として再整備するため、中小クルーズ船が接岸できる岸壁の整備、港内の浚渫などを進めるとともに、しまなみ周遊等が可能な観光遊覧船等の運航を検討すること
- (2) 今治港から今治城や中心市街地までを回遊できるようなインフラを整備・充実すること
- (3) 上記の事項に加え、市民が日頃から集まり、交流できる憩いの場となるよう努めること

2 今治市内における MICE 機能*の整備

- (1) 今治市内にバリシップなど大規模な展示会等が開催可能な会場を整備すること
- (2) 海事関係をはじめ、さまざまな分野での展示会やイベント等を誘致し、今治の魅力向上に努めること

*MICE 機能とは

Meeting : 会議・研修、Incentive tour : 研修旅行、Convention : 大会・学会、
Exhibition : 展示会 などが開催できる機能

3 海事都市・今治の未来のための基金創設

- (1) 海事都市・今治の未来創生の取り組みに賛同する企業等からの寄附金を受け入れるための基金を早急に創設すること
- (2) 海事産業振興のために必要な施設整備、その適正な管理運営、海事産業の各種活動への支援、海事産業人材の確保など、基金を活用した具体的な事業内容の検討に着手すること

以上